

2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

4

函館最初物語



現在の函館競馬場 2010年完成

【函館競馬場】

函館競馬場が現在の場所に建造されたのは1898年(明治31)で、日本最古である。函館における競馬開催は、1875年(明治8)に函館招魂社(現・函館護国神社)例大祭の際に行われた祭典競馬がルーツである。その後、1883年(明治16)から1896年(明治29)までは、函館市海岸町競馬場で開催された。



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリー：変化をもたらす」



国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。

ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ…………… 1	●米山奨学生のご紹介…………… 9
●会長エレクト研修セミナーおよびロータリー財団セミナー・米山報告… 2	●台湾東部地震災害義捐金報告…………… 9
●地区職業奉仕・基本理念委員会『重要な40パーセント』…………… 3	●ハイライトよねやま…………… 10
●第39回バギオ訪問交流の旅…………… 4	●ロータリーコーディネーターNEWS…………… 11
●地区クラブ支援委員会『RL I 体験してみよう!』…………… 5	●地区カレンダー 4月・5月…………… 12
●第4・5グループ合同IM開催報告…………… 6	●出席率・会員数…………… 13
●2017-2018年度米山記念奨学生修了式…………… 7	●トロント国際大会案内…………… 14
●新入会員紹介／訃報…………… 8	●文庫通信…………… 15
●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付…………… 8	



皆さんの「ロータリーの心」を お届けしました

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **國 立 金 助**

(函館RC)

台湾東部・花蓮県沖を震源に、2月6日夜に発生したマグニチュード6.4の地震に対し、第2510地区69クラブ中64クラブのロータリアンより多額の寄付を戴きまして心よりお礼申し上げます。さっそく2月24日一泊二日(実滞在時間13時間)で、私と森川地区代表幹事の2人で、台湾3490地区へ届けてまいりました。当日は台北市内に22時30分頃到着しましたが、台湾からは、10月の地区大会(函館)へRI会長代理として来ていただいた姚 啟甲様、謝 漢池ガバナー夫妻、蔡 志明ガバナーエレクト、洪 清暉PG夫妻、地区国際親善委員会劉 深根夫婦、そして花蓮市出身の林 慶明PG(自己所有のビル半壊)の皆様が待っておりました。

その場にて、第2510地区ロータリアンから頂いた心のこもった支援金210万円を第3490地区謝 漢池ガバナーへお渡し致しました。謝 漢池ガバナーからは、「第2510地区ロータリアンに心より感謝申し上げます。ロータリーとしては、最初の義援金であり、直接届けて戴いた事に対して第2510地区ロータリアンの皆様にあたたかいお気持ちをしっかりと受け止め再建の為に有効に使わせていただきます」とのお言葉を戴きました。また再度皆様から「第2510地区ロータリアンの皆様の心のこもった義援金を戴き心より感謝申し上げます、この事を糧により一層再建の為に頑張ります」とのお言葉をいただきましたことをご報告申し上げます。

本年度の北海道は夢の大地「大いに夢を語り合い楽しい一年に」、そして「ロータリーの心＝他人を思いやる心」を若者・青少年に伝えて行く事が大切であるとのテーマのもと、今回は、若いロータリアンに大いに夢を語っていただく場として、

「入会3年未満の新会員研修セミナー」を1月27日・28日(一泊二日)登別グランドホテルにて開催致しました。参加会員59名、ガバナー補佐12名、地区幹事、講師舟本秀男様(財界さっぽろ代表取締役・札幌南RC)、丸山淳士PG、アドバイザー羽部大仁PG、嵯峨義輝PG、地区クラブ支援委員会の皆さん、特に第3グループ山本公彦ガバナー補佐を始め岩見沢RCの皆様には、前回の経験を生かし、すっかりお世話になりました。研修は基調講演で二人の講師よりお話をいただき、その後、小グループ(グループ別・クラブ別)に分かれ、若者に、大いに夢を語っていただきました。それぞれ、心に残る体験をされた事と思います。これからのロータリー活動の糧になる事を期待します。

「RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)体験セミナー」を実施します。各クラブではリーダー(クラブ会長・クラブ会員・ガバナー・ガバナー補佐・クラブ地区委員長等)のなり手がなかなか見つからないクラブが増えつつあります。これからは、黙っていてもリーダーが育つ時代から、ロータリーに小さいリーダーを育てる時代であるとの認識のもと、本年度地区・クラブ支援委員会渡邊葉子委員長を初め、全委員で一年かけて、「明日のリーダーを育てる」方法の一つとして、RLIを研究し、実際に体験も重ねて来た結果、此の度、下記の日程にて「RLI体験セミナー」を開催致します。クラブ会長には、是非「明日のリーダーを目指す」ロータリアンの参加要請をお願い申し上げます。そして、地区の各委員長には、次の委員長を育てる為にも委員の参加要請をお願い致します。

RLI(ロータリー・リーダー・シップ研究会) パートI 体験セミナー開催のご案内

- 《日 時》2018年6月9日(土)
- 《受 付》8時45分 開会9時00分～閉会17時00分
- 《場 所》コンベンションセンター(地下鉄東西線 東札幌 下車 徒歩9分)
住所：札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 電話011-817-1010
- 《定 員》35名(受付順として定員数に達した時点で締切りいたします)
- 《形 式》少人数(7名以内)でのディスカッションを50分間で5セッション行います。
- 《対 象》向上心ある希望者(推奨者クラブ会長：幹事：エレクト：研修委員長他)
- 《参加費》2,500円/1会員(資料+昼食+飲料含む)

※参加申し込み締め切り 5月15日(火)迄とさせていただきます。

※参加取消は、開催10日前迄に、下記電話・メールにて申し受けます。

今回の取消可能な締切は5月30日迄

クラブ支援委員会 委員長 渡邊葉子/連絡先 090-7517-2861 / E-mail:yoko-w@fine.ocn.ne.jp



会長エレクト研修セミナーおよび ロータリー財団セミナー・米山セミナー報告

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**
(札幌RC)

2018年3月10日(土)、11日(日)に標記セミナーが開催され、地区内69クラブの会長エレクトが、札幌グランドホテルに集まりました。

初日は、小山司ガバナーエレクトによる点鐘の後、ホストクラブの札幌モーニングクラブ宮部光行会長の開会宣言により研修セミナーが開始されました。

午前中に小山ガバナーエレクトから、RIのテーマと国際ロータリーの目標ならびに地区の目標について説明があり、その後、熊澤隆樹次期地区研修リーダー(PG)から、クラブ運営等についての講話がなされました。

午後は、第一ゾーン・ロータリーコーディネーター酒井正人講師(PG)による、「クラブ運営上の留意点～柔軟性を高め、クラブの活性化に向けて～」についてご講演を頂きました。その後、小山ガバナーエレクトから提示されたテーマについて、六つのグループに分かれての二時間にわたる分科会討議が行われました。

なお、討論テーマは、①三つの地区目標(組織の活性化 ②ロータリーの認識・理解の向上 ③地域社会との関わり合いの深化)の達成に向けて、主たる意見交換をして頂きました。

それぞれのグループには、次期ガバナー補佐2名と、福田武男ガバナーノミニニ、塚原房樹PG、熊澤PG、安孫子建雄PG、羽部大仁PG、嵯峨義輝PGがアドバイザーとして参画し、討論をリードされました。

会長エレクトにつきましては、2時間にわたる分科会討議で意見交換ができ、今後のクラブ運営にあたって非常に有意義な内容であったかと思われます。

分科会討議を終えた後、再び一堂に会して、それぞれの分科会を担当された次期ガバナー補佐から報告がなされ、一日目のセミナーを終了しました。

会長エレクト研修セミナーの二日目は、各クラブから財団ならびに米山の各委員長も参加されて、標記のセミナーが開催されました。

財団セミナーでは、冒頭にロータリー財団地域コーディネーター補佐の羽部大仁PGが、ロータリー

財団の現況について説明をなされ、その後、丸山淳士財団委員長(PG)から財団への寄付等について説明がなされました。その後、「地区補助金プログラム」、「ポリオプラス」、「財団奨学金」等について、それぞれ担当の次期地区委員長から説明がなされました。

出席者各位は、昨今の財団の厳しい財政状況を理解するとともに、財団からの補助金(地区補助金、グローバル補助金)を有効活用して地域社会との関わりを深め、更には、海外の恵まれない地域への協力支援を今後とも継続的に実施する重要性を認識したものである。

財団セミナー終了後、休憩を挟んで「米山セミナー」が開催されました。

米山セミナーでは、冒頭に(財)ロータリー米山記念奨学会理事の塚原房樹PGから「米山記念奨学会の現況」について説明がなされ、引き続いて米山学友会や奨学生の近況報告がなされました。

米山記念奨学会は、世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動でもあり、その成果は高く評価されております。

しかしながら、当事業の財源は、ロータリアンからの寄附によって賄われておりますが、当地区の実績は全国的にも低く、ロータリアン各位の一層のご協力ご支援をお願い申し上げる次第であります。

最後に、小山ガバナーエレクトから両セミナー実施の所感を、国立金助ガバナーから総合講評を頂いて二日間のセミナーを終了しました。本セミナーの開催にあたりましては、ホストクラブとしてお勤め頂きました「札幌モーニングクラブ」メンバー全員の献身的で秀でた実行力により、非常にスムーズに運営できました。心から厚く御礼申し上げます。





重要な40パーセント

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井清治

(函館亀田RC)

ロータリーの職業奉仕とは、一人ひとりのロータリアンが例会活動を通じて自己研鑽を遂げ、その自己研鑽のエネルギーを自らの事業所に適用するという奉仕で、ロータリアンが受益者になる奉仕のことをいいます。よって、いちばん重要なのは「クラブ例会」であり、それは「出席」にあります。

例会は「親睦」と「奉仕」にて営まれます。例会時間のうち最初の30分は、食事をしながら親睦を温める時間で、後の30分は奉仕に耳を傾ける時間、即ち卓話の時間です。したがって、例会の最初から最後まで出席しなければならないということは言うまでもないことですが、60%ルールなるものがあるために、卓話の始まる前に退席するロータリアンが時々いるのは、残念ながら、どのクラブでも同じなのではないでしょうか。これでは親睦だけのロータリーになってしまい、奉仕に耳を傾ける時間がなくなってしまいます。60%ルールというのは、例会中に急用ができて帰らなければならないような場合に、例会時間の60%を経過していれば、途中退席してもよい（出席と認める）と言うだけのことであって、60%出席すれば退席する権利があるなどと、本来の趣旨を誤解されているのが悲しい現状です。ホームクラブであれ、メイクアップであれ、例会中の急用以外の理由で途中退席をすることは、integrity 高潔性を掲げるロータリアンとしていかがなものかと思えます。

さて、この「60%ルール」がどのようにして出来たのか調べてみました。ある日のこと、国際ロータリーは、ロータリアンに出席の大切さを理解させるためには、ロータリアンに「例会出席の競争をさせたらよいだろう」と考えました。この競争は、アメリカとカナダというように非常に広い地域を単位として行なわれ、国際ロータリーが行司役を務めたのですが、日本がこの競争に参加したことは未だかつてありません。競争ですから、それはフェアでなければなりません。例えば、会員数100名のクラブで1名欠席すると出席率は1%減少しますが、50名のクラブで1名欠席すると2%減少して出席率は98%になります。25名のクラブでは4%減少して出席率が96%になります。したがって、1名欠席したことの効果がクラブの会員数によって変わってきます。これは不合理だ

というので、国際ロータリーは、会員数によってグルーピングをして会員数50名から75名のクラブ、会員数76名から100名のクラブというように、分けて競争させました。その中の基準として、例会に60分在席しても出席、5分間しか在席しなくても出席というのでは、どのクラブも自分のクラブを優勝させたいがために1分しか在席しなくても出席とし取り扱う恐れがあります。これではフェアな競争はできません。そこで、恨みっこなしのルールとして、例会時間の60%出席すれば出席、それ未満であれば欠席としたのです。したがって、これはロータリアン不信を前提としたルールであり、あくまでも競争のルールなのです。毎週の例会は競争の場ではありません。自己研鑽の場、心を磨くところなのであります。競争をするために、私たちロータリアンは出席しているわけではありません。にもかかわらず、競争の論理を自己研鑽の場に持ち込み、ルールの一部として定款上（ロータリークラブ定款第12条第1節）記載されていることは残念に思います。

「ロータリーよ何処へ行く？ 昼飯食いにゆく」と1930年、イギリスのエジンバラで、ジョージバーナードショーに揶揄されました。その後90年近く経った今の例会はどうでしょう？ 携帯の着信音が鳴り響いたり、まわりを気にせず大きな声での私語、居眠りなども「多様性」として許容されるのでしょうか？ 例会「会長の時間」のロータリーに結びつけての話からはじまる充実した例会。それは貴重な時間を裂いて出席する会員へ、それ以上のメリットをクラブは用意し、持ち帰ってもらわないといけないのではないのでしょうか。

第二次世界大戦の最中に例会を守り続けた先輩たちのロータリーに対する情熱を、歴史的価値のみに留めず、これからも継続していかなければなりません。高い水準に成熟した伝統文化を誇る日本のロータリアンとして、「次の世代へロータリーをリードするためには如何にあるべきか？」を今一度立ち止まって考えようと、国立ガバナーは私たちに問いかけています。

取り戻そうロータリーの心！

参考文献：J. P. ウォルシュ著

ポールハリス偉大なる奉仕の先駆者より



第39回バギオ訪問交流の旅

一般財団法人比国育英会バギオ基金

理事 矢橋 潤一郎

(札幌東RC)

2月9日(金)から12日(月・振替休日)にかけて、一般財団法人比国育英会バギオ基金の「バギオ訪問交流の旅」が挙行されました。本事業は毎年開催され、今回で39回目になります。当地区からは戸部謙一氏(札幌西RC)、トーキル・クリステンセン氏(札幌南RC)、白崎邦彦氏(札幌東RC・基金評議員)と私の4名が参加しました。

バギオ基金は1981年、東京のロータリアンによって設立されました。「ロータリーの友」誌にも、毎年、活動紹介が掲載されています。フィリピン・マニラから北へ250kmの高地・バギオの子供達へ奨学金を届けるのが主たる事業です。

バギオは第二次世界大戦の激戦地でした。戦後残された日系人は、経済難で子弟の教育に困っていました。それを聞いたロータリークラブが1978年に協力を申し出ました。現在まで3,000名を越す奨学生が、基金の奨学金で勉学の機会を得ています。

基金では、奨学生との交流を目的に、毎年、バギオを訪問しております。今回は全国から60名が参加。例年になく多さです。ロータリアンの家族も増えています。特に中高生のお子さんにとっては、観光地をまったく回らず、貧困を目の当たりにするこの旅行は、幼いながら人生観に影響を及ぼすようです。

旅程は、まず、マニラで在フィリピン大使館の公使から感謝と激励を受け、バギオへ向かいます。バスで6時間。渋滞を抜けるまでは警察が便宜を図ってくれるので、まともにいけば、7時間以上かかる距離です。

道中、山村地域の小学校を訪問。ここも基金に関わるロータリークラブによって、図書など学用品が寄贈されています。子供達の歓待を受け、さらにバギオを目指します。

バギオは高地だけに、冷えます。当地区からは吹雪の日に出向いたので、さほどでもありませんが、沖縄からの方々にとっては結構な寒さだったようです。

バギオ到着は夜。早々に奨学生との会食が始まります。奨学生達による踊りは上手なもので、口

ータリアンと奨学生とで日本の童謡を歌うなどアトラクションも楽しいものでした。

翌朝は、本事業のきっかけとなった日本人修道女の名前を冠した「シスターテレジア海野メモリアルホール」で奨学金の贈呈式。終了後、ジブニー(乗合タクシー)に分乗し、奨学生の家庭訪問に向かいます。私のグループは約1時間揺られて、丘陵地帯にバラックが張り付くように建てられた地域へ。ジブニーを降りてから、下水の臭いが漂う水路を渡り、12歳の女の子の自宅にお邪魔します。狭く細長いリビングですが、外観と違って清潔感がありました。お母さんはお手製のスイーツを振る舞ってくださり、我々の質問にも真摯に答えてくださいました。

再びジブニーで1時間かけて市街地へ戻り、お昼はバギオRCとバギオサマーキャピタルRCの合同例会。ここから、またバスでマニラへ戻ります。

基金は、これまで東京と周辺地区のロータリアンが中心になって運営されてきました。そのため友誌に載っても、他地区にとっては関心をひかないものでした。同じ奨学金を扱う米山記念奨学会に比べると、フィリピンのバギオという特定地域を対象とする面も特殊です。そこで、地方に理事や評議員を置くことにより、支援の幅を広げようと基金は考えました。去年は、札幌東RCと札幌南RCの例会で基金副会長(東京臨海RC)が卓話をしました。今後も積極的に卓話に出向きたいとのことです。是非機会をいただきたくお願い申し上げます。



RLI 体験してみよう！

地区クラブ支援委員会

委員 平川 香織
(札幌手稲RC)

今年度の地区クラブ支援委員会の活動計画の一つにRLIの広報活動推進があります。文字通り、RLIというものを広く皆さんにご理解いただくということでもあります。

今回は、去る2月12日第2790地区(千葉)でのRLIパートIに実際参加したことをもとにご説明させていただきます。RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)の目的は、リーダーシップの研修を通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することです。そのカリキュラムは、パートI・パートII・パートIIIからなるスパイラル展開になっています。

パートI＝「ロータリアンとしての私」ロータリアン一人一人が学ぶべきテーマ

パートII＝「私たちのクラブ」所属するクラブがより効果的クラブに成長するためのテーマ

パートIII＝「私のロータリーの旅」IとIIでの学びを基により幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶことをテーマ

そのゴールは、私たち一人ひとりの、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立です。

カリキュラムのもう一つの特徴は、「リーダーシップ」「奉仕」「会員組織強化」の三つの大きな柱で構成され、全てのパートは、それらのどれかを含む6つのセッションから構成されています。

第2790地区でのRLIパートIは、千葉市民会館にて午前10時から午後6時まで50分ずつ6セッション・6時限で行われました。私達を含む他地区(北海道～沖縄)からの16名と第2790地区の会員を合わせて74名が参加しました。開講式の後、私達は移動便覧表に従って、A～Fの6つの各セッションの会議室に移動し、セッション・時限別にスタートしました。私を例にご説明すると、私は1時限目・セッションBからスタートし、セッションC→D→E→F→Aと会議室を移動して行きました。各セッション毎に約6割のメンバーが入れ換わりました。会議室の中は概ねコの字にテーブルが置かれ、そこに12～13名の会員が自由に着席し、カリキュラム内容の書かれたホワイトボードを背にファシリテーター(以下FT)が一人いらっしかったです。

FTは、ディスカッションを行うチームが効果的に機能し、高い質のアイデア交換が出来るよう、ディスカッションの内容を決定し、導き、監視する中立な立場の人で、進行をお手伝いする役割を担っています。まず簡単な自己紹介の後、FTの進行のもとカリキュラム内容についてディスカッションが始まりました。FTが満遍なく軽快に問いかけ、それに対して、それぞれ意見を活発に述べていき、50分はあっという間に終わりました。各セッションを専任のFT数名が交代で担当していましたので、それぞれに違った特徴があり、参加者が課題に関して、どう関心を示すかはFTの能力に因るところも多いように感じました。昼食時間をはさみましたが、6時限集中し続けるのにはなかなかしんどいものがありました。その後、閉講式があり、RLIパートI修了証頂きました。

実際に参加して、多くの会員の意見を聞いたことも然り、一方通行の講演を聞くより、自ら課題に対して発言することによって意識向上し、そして責任感とやる気を奮い立たせてくれることを実感しました。また、このディスカッション法はクラブでの新会員研修など様々な場面で非常に有効だと思いました。私の稚拙な文章ではなかなか理解に苦しまれたことと思いますが、一度体験してみれば、ご理解いただけると信じております。

そこで広くご理解頂くため、来る6月9日RLIパートI体験セミナーを札幌コンベンションセンターにて開催致します。これを機に、まだRLIって何?と疑問に思っている、会員のロータリーへの理解とモチベーションを高めたい、クラブを活性化させたいと考えている向上心のある会員の方は、是非ご参加下さい。お待ちしております。

インターシティミーティング開催報告

(国際ロータリー第2510地区第4・第5グループ合同)

第5グループガバナー補佐 **徳 中 征 之**
(札幌南RC)

本年度の第4・第5グループ合同インターシティミーティングは、3月17日午後1時からホテルロイトン札幌で開催されました。ホストクラブは札幌南RC、コホストクラブは札幌西RCクラブです。

ご来賓として窪田毅北海道副知事をお招きし、また、国立金助第2510地区ガバナーに出席いただき、第4・第5グループから6名のパストガバナーをはじめとして587名の登録をいただきました。

服部信吾ホストクラブ会長の歓迎の言葉、次いで徳中征之ガバナー補佐がご来賓・役員を紹介し、本年が北海道命名150年にあたることから、本年のIMは「北海道命名150年を迎えて～更なる150年へ向けて～」をテーマに開催することにしたとの趣旨説明があり、その趣旨説明に引き続き、国立金助ガバナーから丁重なるIM開催の祝辞をいただきました。

基調講演では、株式会社財界さっぽろ代表取締役社長の舟本秀男氏(札幌南RC)が講師として、「武四郎が夢見た北海道の未来」の話をされました。

現在の三重県松阪市で生まれた松浦武四郎は、北海道および道内11ヶ国86郡の名付け親であり、江戸末期に6回蝦夷地調査を行い、1日60キロから70キロのペースで道内の荒野を歩き、訪れた土地を詳細に調査、地図や資料、膨大な書籍を残し、アイヌ語を研究、松前藩や商人に虐げられていたアイヌの人々に対して深い理解と愛情を持ったヒュ

ーマニストでありました。武四郎が作成した地図、武四郎とアイヌの人々の生活を描いた絵、武四郎の書、武四郎の銅像や顕彰碑等の映像を使い、大変わかりやすい、感銘深い講演でした。北海道のための武四郎や開拓者の苦難の足跡、アイヌの人々との共生をたどり、先人の思い、開拓者精神を学ぶことができました。

また座談会では、舟本秀男氏がコーディネーター、窪田毅北海道副知事、石丸修太郎ガバナー補佐、徳中征之ガバナー補佐がパネラーとして、明日の北海道のために我々ロータリアンに何を期待するか、我々ロータリアンは明日の北海道のために何をなすべきかを話し合いました。

また記念事業として、窪田副知事に、舟本秀男氏の著作「北加伊道」60話100冊、ならびに貴重な登録料の中から寄付金を贈呈しました。

懇親会では、窪田毅副知事、国立金助ガバナーに引き続きご参加いただき、石丸修太郎ガバナー補佐の開会の挨拶に始まり、武部實パストガバナーから挨拶と次期ガバナー補佐の中村和雄氏(札幌手稲RC)および関堂勝幸氏(札幌東RC)の紹介があり、また交換留学生3名も参加し、更なる交流と親睦を深めることができました。

以上のとおり、多数の登録、参加をいただき、意義あるIMを開催できましたことは、ひとえにロータリアン皆様方の厚意と友情によるものであり、深く感謝申し上げます。



2017-2018年度米山記念奨学生修了式

米山記念奨学・学友委員会

委員 山田 正

(小樽南RC)

2018年3月3日、札幌センチュリーホテルにて米山記念奨学生の修了式及び歓送会が開催されました。今年度修了される奨学生は11名です。

修了式では、来賓である、福田武男ガバナーノミニー、塚原房樹(財)米山記念奨学会理事より祝辞のお言葉をいただきました。

修了された11名の奨学生には、米山記念奨学・学友委員会大石委員長より修了証が授与され、カウンセラーの皆様へは、福田武男ガバナーノミニーより感謝状が授与されました。

歓送会では奨学生の皆様から、米山記念奨学生なったことで勉学、研究に専念できたこ

と、カウンセラーの方に大変お世話になったこと、クラブ例会や各種行事に参加した際にロータリアンの皆様から親身に接していただいた事に感謝の言葉を述べられました。

また、カウンセラーからは、奨学生と家族同様のお付き合いをしてきたので、寂しい気持ちもあるが、継続したお付き合いと奨学生の今後の活躍を期待するとのお話がありました。

その後、鄭子龍米山学友会副会長にご挨拶いただき、最後に中締めとして、大槻継也地区米山担当幹事より挨拶いただき閉会となりました。



新会員のご紹介

(敬称略)



滝川RC
越田 雄三
2月1日入会
金融業



滝川RC
住吉 直樹
3月1日入会
福祉サービス業



岩見沢RC
浅野 賞一
3月1日入会
測量士



伊達RC
川南 忠士
3月13日入会
乳製品配布



室蘭東RC
日沼 順子
4月7日入会
看護師

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



えりもロータリークラブ

岩本 溥叙

2018年3月14日 ご逝去
(享年77歳)

【ロータリー歴】

2002年(平成14年) 5月 入会
2007・2014~2016年
会員増強委員長

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北RC	中嶋 成実	会員 (3回)	2月27日	新札幌RC	五十嵐 勤	会員 (4回)	2月14日
札幌手稲RC	山地 庸夫	会員 (11回)	2月26日	新札幌RC	清水 昭子	会員 (6回)	2月14日
札幌手稲RC	長谷川 太洋	会員 (1回)	2月26日	函館五稜郭RC	酒井 正人	会員 (18回)	2月16日
札幌手稲RC	松澤 勇	会員 (1回)	2月26日	函館五稜郭RC	後藤 広隆	会員 (1回)	2月16日
札幌手稲RC	檜山 幸利	会員 (1回)	2月26日	函館五稜郭RC	平林 秀樹	会員 (1回)	2月16日
札幌手稲RC	曾我 千鶴	会員 (1回)	2月26日	函館五稜郭RC	岡田 恒男	会員 (1回)	2月16日
札幌手稲RC	坂戸 幸夫	会員 (1回)	2月26日	函館五稜郭RC	山田 信一	会員 (1回)	2月16日
札幌手稲RC	中川原 憲	会員 (2回)	2月26日	函館五稜郭RC	廣田 友博	会員 (1回)	2月16日
新札幌RC	南部 賢	会員 (1回)	2月14日	函館五稜郭RC	星井 英人	会員 (1回)	2月16日
新札幌RC	田中 忠行	会員 (1回)	2月14日	函館五稜郭RC	渡部 一博	会員 (2回)	2月16日
新札幌RC	高田 芳夫	会員 (2回)	2月14日	函館五稜郭RC	千葉 光夫	会員 (3回)	2月16日
新札幌RC	有田 京史	会員 (4回)	2月14日				

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦 別RC	稲津 寿一	会員 (1回)	2月23日	札幌手稲RC	肘井 博行	会員 (3回)	2月27日
芦 別RC	板垣 勝	会員 (1回)	2月23日	札幌手稲RC	久末 満三	会員 (3回)	2月27日
芦 別RC	宗方 裕之	会員 (1回)	2月23日	新札幌RC	大石 清司	会員 (1回)	2月14日
芦 別RC	道島 尚光	会員 (2回)	2月23日	新札幌RC	有田 京史	会員 (3回)	2月14日
札幌北RC	草間 孝廣	会員 (4回)	2月27日	新札幌RC	清水 昭子	会員 (4回)	2月14日
札幌手稲RC	中川原 憲	会員 (1回)	2月27日	函館東RC	戸嶋 浩	会員 (4回)	2月14日

ポール・ハリス・フェロー

芦 別RC	榎田 秀一	会員	2月23日	新札幌RC	南部 賢	会員	2月14日
札幌手稲RC	檜山 幸利	会員	2月27日	新札幌RC	田中 忠行	会員	2月14日
札幌手稲RC	坂戸 幸夫	会員	2月27日				

米山奨学生の紹介



自分だからできること

イスクレスク・ミコラ（ウクライナ）

北海道大学・北広島RC

四年前の秋、日本に来たばかりの頃は、自分が留学している目的がはっきりしてなかった。ただ親から離れたくて、自立しながら自分を探したいと思っていた。北大に入学したときも、自分の進路はまだ決まっていなかった。

しかし、大学生生活のスタートとともに、自分も変わりかけていた。先端科学を必修に進めている先生の授業を受け、現代の科学の状況を把握してから、私も科学に興味を覚えた。今では授業やバイト以外の時間を図書館で過ごし、生理学や細胞生物学などの教科書を熟読している。

日本で自立したいと思うのであれば、自

分の生活費や学費を自分で稼ぐことは当然のことながら楽ではない。いくら楽しいバイト先でも、働きの時間は勉強や外活動よりもつたいなく感じる。だからこそ、ロータリー奨学生に選ばれたことを感謝しながら与えられた時間を有意義に過ごしたいと思う。

今春から研究室に所属することになるので、春が待ち遠しい。たくさん座学したおかげで基礎知識をしっかりと身に付けられた。それを応用し、自分が興味を持っている神経科学をさらに発展させたいと思う。記憶の保存機構や人間の感情の元のような課題も、現代の技術を使えば解明できるだろう。

◆◆◆「台湾東部地震災害義捐金」報告◆◆◆

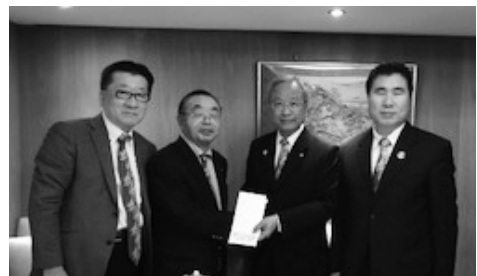


～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

本年2月6日に発生致しました台湾東部地震災害につきまして、地区内各クラブに義捐金のお願いを致しましたところ、下記64クラブより総額210万円の浄財を頂戴致しました。

過日、RI第3490地区（被災地花蓮を含む）に贈呈を致しましたのでご報告申し上げます。有難うございました。

写真はRI第3490地区 謝ガバナーと林バスターガバナー（花蓮港区RC）です。



深川RC、羽幌RC、妹背牛RC、留萌RC、赤平RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC、えりもRC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.3.13

ハイライトよねやま

Vol.216

寄付金速報 一下半期の寄付状況

2月までの寄付金は前年同期と比べて4.7%増(普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:7.1%増)、約5千万円の増加となりました。

2月単月の寄付額も、この3年間で最も高い額となり、財団設立50周年の下半期は順調に推移して

います。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。

今年度も残り3カ月半となりました。今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

マレーシア米山学友会総会

3月4日、マレーシア米山学友会(会長:黄麗容さん)の総会がペナンで開催されました。

2016年9月の創立総会以来、初めての総会となり、学友17人のほか、日本在住の学友2人がスカイプで参加し、日本からは第2590地区前米山記念奨学委員長の高橋敏昭氏ご夫妻が参加しました。

総会は日本語で進行され、事業報告・会計報告がなされたほか、5月からは毎月の会合を再開するなどの活動計画が活発に話し合われました。創立時の会員21人から倍増し、現在は会員数58人。

黄会長は、「創立時にも来て下さった高橋さんご夫妻に学友会としての成長を見ていただけて嬉しい。

首都クアラルンプールでも会合を増やし、養護施

設訪問など奉仕活動も計画していきたい」と、今後のさらなる飛躍を誓いました。



ネパール米山学友会が無料医療キャンプを実施

ネパール米山学友会(RYSAN)では、2015年4月に発生したネパール大地震の際、日本のロータリー地区・クラブ、ロータリアン、米山奨学生・学友から寄せられた総額1,400万円超の義援金を元に、被災学生への奨学支援や被災地への農業研修など、さまざまな復興支援活動を行っています。

1月6日には、その新たな施策として、無料医療キャンプを実施しました。

この医療キャンプは、RYSANが企画し、カトマンズの脳神経専門病院やその関連機関との連携によって実現したもの。当日、RYSANからは会長のビジャヤ・パントさん(1995-97/広島東南RC)と会計担当役員のディーバ・ディタルさん(2009-10/岐阜西RC)の2人が参加。高校生の家族3人も同行し、データの記録や文書管理、写真係など、ボランティアとして活躍しました。主に、ダーディン郡の恵まれない少数民族と地震で被災した地域の人々を対象に実施された今回のキャンプで、無料の治療・投薬を受け

た患者数は、251人にのびりました。RYSANでは来年も、地震で大きな被害を受けた地域で、同様の医療キャンプを行う予定です。



記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight216_pdf.pdf



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F / Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

編集担当: 野津・峯

[E-mail] highlight@rotary-yoneyama.or.jp

[URL] <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年4月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第1ゾーン担当

■公共イメージの観点からの奉仕活動

2017年4月号コーディネーターニュースへ、私は「ロータリーを正しく伝える為に、まずはロータリーの目的を分かり易く伝えるべき」と記載しました。「ロータリーの目的」を分かり易く表すと

1. 知り合いを広め奉仕の機会とする

⇒新しい仲間を増やして共に奉仕活動しよう。

2. 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものにする。

⇒自分の職業をもっと磨きましょう。自分の職業を磨くには、まずは自分を磨く必要が有ります。つまり自分と自分の職業を磨きましょう。

⇒昨今は、職業奉仕について触れる機会が少なくなりました。

「職業奉仕云々より、会員増強と寄付を多くしよう」と声高に仰る方も居ますが、私は「会員は自分の基盤である職業をしっかり磨く事がまず大切で、その上に社会奉仕や国際奉仕が有る」事が望ましいと考えています。

3. 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する

⇒地域社会に於いて、自分個人やクラブが地域に必要な事で周囲(自治体や他の団体)が手を差し伸べていない事業を探し、実行する事と考えます。

○永年に亘って実績を重ねてきた社会奉仕も、たまには見直したら如何でしょうか？

⇒始めた時には地域に必要な事で周囲が手を差し伸べていなかった。しかし今では社会情勢が変わり、あまり必要ではなくなった、或は周囲も熱心に行っているような場合には、ロータリーは一步下がって、別の案件を探してみる事も必要と考えます。

⇒逆に、もっと大々的に続ける必要があるのに、ロータリーだけでは成し遂げる事が出来ない大きな事業になる場合には、他の団体と共同で奉仕する事も考えてみましょう。

共同して仕事すると、相手団体の方々にロータリーの事をよく理解して頂けるでしょう。

4. ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する

⇒これは言葉の通りですが、今はポリオ撲滅に全力投球。この事をもっとアピールしましょう。

ロータリー公共イメージコーディネーター 第1ゾーン 鈴木秀憲

■ロータリーの創立記念日に因んで

2月はロータリークラブにとって創立記念の月でありました。今年で113周年を迎えることとなりました。さて、創立記念日は、創立者の思いを再認識するとともに、今日までの変遷に思いを馳せ、また今後のことを考える機会でもあります。私の地区で、2月23日に必ずIMを行う区分があります。実にロータリーらしい企画だと思っております。クラブを支えている会員が、創設者の思いを一年に一度、お互いに認識する場を必ず設けているということで、とりわけ、新入会員にとっては絶好の機会であり、ロータリーのDNAを継承していく喜びであるとも言えます。そして、これから地区大会が開催される地区、ロータリーの1年の締めくくりの国際ロータリー年次大会トロント大会の開催も間近です。地区大会は、ガバナーがRI会長のメッセージを伝える重要な場であり、地区の会員が一堂に集まり、各クラブが取り組んでいることを発表し、評価し合う場でもあり、そして研修の場でもありますので積極的に参加してください。国際ロータリー年次大会にも積極的に参加ください。得るものは大きいです。



今日はロータリーの組織以外でも会員との交流や研修、奉仕に取り組んでいる組織が沢山あります。そうした中でロータリーに更なる興味を持って頂くためには、会員はもとより会員予定者にも声を大にして伝えていく義務があると思います。その為には、価値ある例会、地区大会、IM、RLI等の研修に積極的に参加することが必須となります。最初からロータリーを知り尽くしている方などおりません。だからこそ是非「My ROTARY」を活用し、誰もがロータリーの知識者になっていただきたいと切に願っております。また、ゾーンごとにロータリーコーディネーターがおりますので、是非ともご活用ください。

ロータリーコーディネーター補佐 第1ゾーン 菅原裕典

地区カレンダー（4月・5月）

4月 母子の健康月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	米山記念奨学生・学友会歓迎会 第2グループIM（砂川）
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	2018-19年度地区研修・協議会（札幌）
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	千歳RC 創立50周年記念式典
22 (日)	第6グループIM
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	昭和の日
30 (月)	

5月 青少年奉仕月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	憲法記念日
4 (金)	みどりの日
5 (土)	こどもの日
6 (日)	
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10 (木)	
11 (金)	
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	
15 (火)	
16 (水)	
17 (木)	
18 (金)	
19 (土)	第12グループIM（苫小牧）
20 (日)	第1グループIM（深川）
21 (月)	
22 (火)	
23 (水)	
24 (木)	
25 (金)	
26 (土)	RYLA セミナー（函館）～27日
27 (日)	
28 (月)	
29 (火)	
30 (水)	
31 (木)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.2.28	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	80.20
	羽幌	3	45	44	-1	2	73.49
	妹背牛	4	7	7	0	0	89.28
	留萌	3	34	36	2	3	84.76
	小計		116	120	4	7	81.93
2	赤平	4	29	29	0	2	63.15
	芦別	3	32	32	0	2	72.41
	砂川	4	41	42	1	1	96.25
	滝川	4	87	94	7	4	70.00
	小計		189	197	8	9	75.45
	3	美唄	4	29	25	-4	0
江別		4	32	32	0	1	78.91
江別西		4	29	30	1	4	88.30
岩見沢		4	75	76	1	0	94.14
岩見沢東		3	19	19	0	2	74.95
栗沢		3	19	19	0	1	92.60
栗山		4	26	26	0	4	95.00
当別		3	27	27	0	0	88.60
小計			256	254	-2	12	87.04
4	札幌	3	117	129	12	2	99.46
	札幌はまなす	3	21	20	-1	3	66.67
	札幌北	3	42	41	-1	4	82.80
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	80.65
	札幌西	3	48	49	1	9	76.66
	札幌西北	4	34	34	0	3	84.20
	札幌手稲	3	39	40	1	4	84.72
	小計		335	347	12	25	82.17
5	札幌東	4	132	128	-4	0	97.86
	札幌清田	2	13	12	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	66	67	1	11	99.04
	札幌真駒内	3	23	24	1	6	100.00
	札幌南	3	85	88	3	1	97.52
	札幌大通公園	2	13	14	1	4	53.60
	新札幌	3	24	23	-1	4	81.54
	小計		356	356	0	30	89.94
6	岩内	3	21	21	0	1	74.60
	倶知安	2	40	39	-1	3	70.00
	小樽	4	73	75	2	4	82.09
	小樽南	3	67	65	-2	3	82.63
	小樽銭函	3	19	20	1	1	85.00
	蘭越	4	10	10	0	0	90.00
	余市	4	45	45	0	6	79.00
	小計		275	275	0	18	80.47

2
月
出席率
・
会員
増減
数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,609人(163人)
増加会員数	58人
当月平均出席率	80.38%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.2.28	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	78.09
	千歳セントラル	3	43	42	-1	8	67.46
	恵庭	4	48	50	2	3	70.91
	北広島	3	20	19	-1	0	81.25
	長沼	2	17	17	0	3	82.35
	由仁	2	7	7	0	0	50.00
	小計		198	205	7	21	71.68
8	えりも	2	16	17	1	1	91.17
	三石	2	12	13	1	0	90.00
	様似	3	18	18	0	1	82.41
	静内	4	69	69	0	4	86.25
	浦河	3	26	27	1	2	79.01
	小計		141	144	3	8	85.77
	9	伊達	3	60	64	4	1
室蘭		4	33	33	0	1	70.59
室蘭東		4	31	37	6	0	79.60
室蘭北		3	42	46	4	3	71.02
登別		4	28	26	-2	1	80.77
洞爺湖		2	10	10	0	0	100.00
小計			204	216	12	6	79.80
10	函館	4	76	83	7	0	68.06
	函館亀田	3	40	43	3	4	72.22
	森	3	36	37	1	0	72.00
	七飯	4	12	12	0	0	81.12
	長万部	3	8	10	2	0	60.00
	函館セントラル	4	22	22	0	2	80.68
	小計		194	207	13	6	72.35
11	江差	2	11	11	0	1	68.18
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	79.72
	函館東	4	45	43	-2	7	67.97
	函館北	3	20	18	-2	0	84.75
	北斗	4	13	12	-1	0	56.40
	小計		144	140	-4	8	71.40
	12	白老	3	29	29	0	3
苫小牧		4	55	62	7	3	83.33
苫小牧東		4	29	29	0	5	83.62
苫小牧北		4	30	28	-2	2	88.89
小計			143	148	5	13	80.96
合計			2,551	2,609	58	163	80.38

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

親愛なるロータリアンの皆さん

トロントで開催される第109回ロータリー国際大会で皆さんをお迎えすることを楽しみにしています。きっと、さまざまなインスピレーションを得られることでしょう。大会は世界中のロータリアンと出会い、アイデアを交換し、学びあえる素晴らしい機会です。多くの奉仕が実施された1年を祝い、次年度へのエネルギーを充電しましょう。

ビジネス、金融、芸術、文化のグローバルセンターとして、トロントは活気に満ち、親しみやすく、多様性に富んでいます。そう、ロータリーと同じです。トロントは、ロータリーでの経験と同じように誰もが楽しめるカナダ最大の都市です。美術館、博物館、レストラン、ショッピング、見事な建築物があり、カナダが誇る大自然にも、身近に触れることができます。

今年、ローターアクトは、50周年を迎えます。米国ノースカロライナ州で始まった小さな青少年プログラムがロータリー最大のプログラムの1つに成長し、全世界で9,500以上のクラブが291,000人を超える若者に奉仕、親善、成長の機会を提供しています。トロントで、ローターアクターと共に発展の軌跡を祝えることを楽しみにしています。

私たちは1年を通じてクラブで奉仕し、仲間がいること、つまり、世界中ほとんどの国で活動するグローバル組織の一員であることを認識します。国際大会は、120万人の会員を擁するロータリーの多様性を最も実感できる素晴らしい機会です。大会に参加して、一緒に変化をもたらしましょう!



2017-18年度RI会長
イアン H.S. ライズリー



大会へのご登録: riconvention.org

文庫通信

(365号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

◎「ロータリーの夢と哲学～21世紀のロータリー～」	久野 薫 2018 19p (D.2680西播第二グループ IM記念誌)
◎「人類の繁栄とロータリー運動」	中村尚義 2018 4p (D.2680西播第二グループ IM記念誌)
◎「変えてはならないロータリーの基本理念 溢れている情報を整理して理解しましょう」	松田泰長 2018 1p (D.2790月信)
◎「RLI参加者テキスト(2015-2018年度版)」	RLI日本支部; 翻訳・監修 2016 197p
◎「地区リーダーチームの手引き ガバナー補佐・地区委員会委員長研修セミナーテキスト」	服部芳樹 D.2630 2018 68p
◎「震災を記憶にとどめ後世に伝える 復興支援・5年のあゆみ」	いわき平中央 R.C. 2016 62p
◎「東日本大震災支援報告書」	D.2530 2016 130p
◎「8・20広島市豪雨土砂災害復興支援報告書」	D.2710 2015 76p
◎「災害支援プロジェクト報告書」	D.2660 2012 142p
◎「体験『阪神・淡路大震災』」	西宮夙川 R.C. 1997 70p

(上記申込先: ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/函館中央図書館蔵

Rotary
District 2510

